



絵双六のいろいろ ～廻り双六と飛び双六～


今日、多くの人が「双六」と呼んでいるのは、紙に描かれた「絵双六」のことで、日本の伝統的な遊びの一つです。

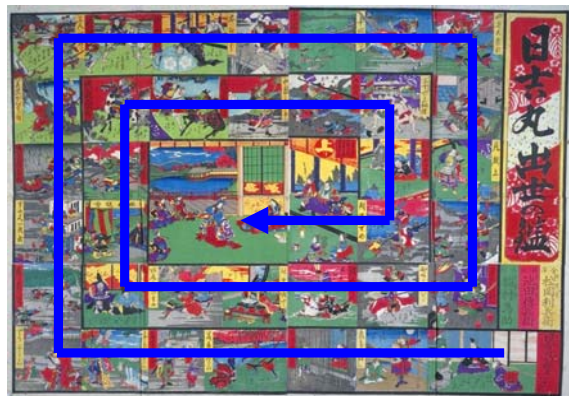
「振り出し」(スタート)の位置に自分の代わりとなる駒を置いてさいころを振り、出た目数に応じて駒を進めながら「上り」(ゴール)を目指します。何人かで集まってするこの遊びでは、誰が一番に「上り」にたどり着けるかを競争します。

絵双六には「廻り双六」と「飛び双六」の大きく二つの種類があり、それぞれ絵双六の図柄や遊び方が異なります。

廻り双六

「廻り双六」は、さいころを振って出た目数のマスだけ、「振り出し」(スタート)から自分の駒を進めます。

(例) さいころを振ったら  (3) が出たので3マス目へ・・・。




2. 「日吉丸出世の鑑」

名前の通り、絵双六の上を廻りながら上りに向かいます。

飛び双六

「飛び双六」では、それぞれのマスに、さいころの目数に応じた移動先が書かれています。さいころを振ったら、マスに書かれた内容を読み、出た目数に応じた移動先へ駒を進めます。マスには、全ての目数について移動先が書かれているわけではなく、さいころを振って移動先が書かれていない目数が出てしまった場合は、駒を動かすことができません。

(例) さいころを振って  (1) が出た。



振り出し「一番手のり出し」のこまの右下に、さいころの目に応じた行き先が書かれている。一の場合は「いちばん一ばん」に進む。



5. 「武芸高名出世双六」

名前の通り、絵双六の上を飛ばすように進みながら上りに向かいます。

江戸・明治の出世双六
にたくす夢